

□ 7月全校集会での話（全校放送による）

みなさん、おはようございます。今日は、全校集会の予定でしたが、暑さが厳しいことから放送での集会といたします。

明日から夏季休業が始まります。8月26日までの長期休業です。この4月から7月まで、皆さんは勉強に部活動に委員会活動に、また自分の習い事や趣味のこと、校外のクラブ活動など一人ひとりが充実した時間をすごしたことと思います。また、一方ではその時間の合間に課題を行ったり家の手伝いをしたりと忙しい毎日を送っていたことと思います。昭和と平成とを比べてみると、この10年間を振り返っても1日は24時間ですが、その密度には大きな差があります。科学技術の発達とともに、便利になっている反面、社会全体としてはスピード感がましているのかもしれませんが。そういう中で、この学生の夏休みというのは貴重な時間です。学習もありますが、部活動では合宿や対外試合・コンクール、いつもはじっくりと読む時間のとれない読書の時間、家族との会話、自己発見チャレンジなどの外の人々との交流など自分と向き合う時間や他者と関わる時間を大切にしてほしいと思います。そして、6年生は自分の進路と向き合い、悔いのない時間をすごしてほしいものです。

さて、西日本では豪雨災害がありました。なくなっただ方も多く、未だ避難生活を送っている方も多くいます。施設が壊れ学校が再開できなかつたり、高校野球の地方大会も始まっていますが、参加することができない高校生がいたり、そのような話を聞き心が痛みます。

先日4年生は北里大学の学生たちによるいのちの授業を受けました。5・6年生も受けたことがあると思います。その中で一人ひとりがこの社会にうまれてくるのが奇跡であり、成長していくことはすばらしく、「いのちのバトン」を次の世代に受けわたしていくことで、今のみなさんがあるという話をききました。一人ひとりのいのちはとても大切なものです。

平成28年の7月、県立の障害者施設である「津久井やまゆり園」において大変痛ましい事件がおきました。私は非常に大きな衝撃を受けました。二度とこのような事件があってはなりません。神奈川県では、「ともに生きる社会 神奈川県憲章」を定めています。校内にポスターが掲示されていますので機会があればみてください。その中の一つに「私たちは温かい心をもって、すべての人の命を大切にします」とあります。「みんなちがってみんないい」ひとりひとりを大切に敬愛するところをもってください。それが次世代を担うリーダーとしての大切な資質です。

次に、生徒のみなさんにもお願いがあります。

生徒のみなさんと教職員との適正な連絡方法についてです。神奈川県の方針をうけて、本校では次のように規定しています。

- 教員は、緊急を要する業務上の連絡に限り、あらかじめ校長の許可および保護者、本人の承諾を得て、生徒のメールアドレスを収集し、はじめてメールを使用することができます。
- 生徒への連絡にメールを使用する場合、教員は、校長の許可を得た業務用個人メールアドレスを使用しなければなりません。業務用メールアドレスとはpen-kanagawaのついたメールのことです。
- 教員と生徒がラインなどに代表されるメッセージアプリのIDを交換したり、しようしたりすることは禁止されています。例外はありません。

これらのことを生徒の皆さんも十分に理解してください。

SNSは大変べんりなものです。しかし、その使い方を間違えると人を傷つけてしまう場合も少なくありません。生徒の皆さんは、適正な使い方についてしっかり自分でその判断ができるはずですので、この機会に振り返ってみてください。

最後になりますが、校内をまわっていましたら、教室のドアに生徒会より節電のポスターがはってありました。生徒同士が気づいたことをよびかけて実行していくことはすばらしい取り組みです。そういう活動が今後も続いていくとよいと思います。

それでは夏休み、安全と健康に気をつけて8月27日元気に登校してください。